

# 暮らし方を

はじめまして、八女に暮らしています

## 選ぶ Style 3

# Style 3

神奈川県から移住

「きさらぎ農園」

## 渡邊 洋希さん 光子さん



長年有機農業を行って来た渡邊さん「恵まれた自然の中で四季を通じた露地栽培を行っています。農業に適した八女の環境は、豊富な種類の野菜を作ることができます」



## HISTORY

**選べるライフスタイル**

**八女市上陽町**

八女市街地から車で15分程度に位置する上陽町。清流星野川に架かる石橋群が町のシンボルです。シーズンには桜やヒマワリが咲き誇り、初夏にはホタルが乱舞する美しい場所です。主な産業は農林業で、高級茶や椎茸、イチゴなどが主力となっています。清らかな空気と美しい水で育まれる農産物の味は格別です。



話し手「きさらぎ農園」渡邊光子さん

渡邊さんご夫婦

**土からもらう生命力——有機農業**

環境にやさしい農業というだけでなく、自然の力、土の力を存分に吸収したおいしい米・野菜を作り続けたいです。美味しいものを食べると人は自然と笑顔になりますよね。そういうものを皆に食べてもらいたいですね。野菜嫌いの子ども達に“おいしい、大好き”と言つてももらえるものを作りたいです。安全で滋味あふれる米と野菜を食べて元気になつてもらいたいです。

現在は、有機野菜を使った加工品（ピューレ）の商品開発をしています。商品名は「ツチカラ」。地域のたくさんの人達の力を借りて商品化を進めています。無添加で野菜そのものの味を味わえ、離乳食や介護食などにもそのまま簡単に使用できる商品を目指しています。

公共の交通機関が都会のように充実していないので買い物など多少不便なところがあるのですが、そういう部分を自分なりに工夫すれば、ゆつたりとした時間の流れみたいなものを感じることができますね。農業で生活していくことはかなり大変で、朝から晩まで休日も取れず仕事ということがほとんどですけど、自然の中で働いているせいいか精神的なゆとりはありますね。無理に都会にしがみついているよりは、田舎暮らしの方が心の豊かさみたいなものは育まれると思います。

ジャズやソウルなどの黒人音楽が好きで、移住する前はそういうバンド活動をしていたのですが、今は音楽活動ができないのがちょっととさみしいです。いろんな人たちと知り合って社会人の音楽サークルみたいなかたちで活動できたらいいなと思っています。

同じような想いで、自然の中で農業をやりたいという人が来て助けてもらいたいながらできるといいなと今は思っています。

**ゆつたりとした心構えで地域に溶け込む**

過疎地を中心に移住する場所を探していたのですが、色々な町の役場等を尋ね歩く中で縁があつて上陽町にたどり着きました。担当の方が親切に住む場所と畠を案内して下さつてとても有り難く思い、物件もすごく気に入つて決めました。

当初は、今までの暮らしと文化や習慣の違いに戸惑つたりして、慣れるのに少し時間がかかりましたが、たくさんの地域の方に助けてもらひながら何とか生活出来るようになりました。

農業は自分で作ったものを自分で食べる、また人にも喜んでもらえる素晴らしい職業です。

恵まれた八女の地を活かし、今後農業を志す方にとっていただければ嬉しいです。

「きさらぎ農園」渡邊洋希さん

// 初めは造園のアルバイトをしながら農業を学ぶ生活でしたが、その後、農地を借り、夫婦二人で農園を始め、6年が過ぎる頃に有機JASの認定を取得しました。

現在は委託販売、病院やレストラン、個人の方にも販売をしています。

農業は自分で作ったものを自分で食べる、また人にも喜んでもらえる素晴らしい職業です。

恵まれた八女の地を活かし、今後農業を志す方にとっていただければ嬉しいです。

## 出身地

佐賀県鳥栖市

## 移住元

神奈川県

## 移住年

1998年

## 職業

農家（有機JAS認定）

## 年代

40代

## 家族構成

本人・妻  
長女（高校生）  
次女（小学生）

## 新規就農型

移住し今年で、17年。  
地元の方々との信頼関係も良好に築けています。現在では、使わなくなった畠をぜひ使ってほしいという声も多いです。

福岡県八女市（ふくおかん やめし）人口67,010人、世帯数24,347世帯。※平成27年2月28日現在  
県内2位の広大な面積を有する八女市。平野部から山間部に至るまで自然や歴史、伝統文化などの魅力満載。  
豊かな地域資源を活かした観光産業や町おこし事業にも力を入れ活気あるまちづくりが進んでいます。  
そんな八女では、あなたに合ったライフスタイルがきっと見つかるはずです。